普天間未来基金

宜野湾市は、米軍基地（普天間飛行場、キャンプ瑞慶覧）が市域面積の約30%を占めており、今後返還される基地の跡地利用には莫大な費用が必要となります。宜野湾市では、一般財源を確保する取り組みとして平成29年7月1日に「普天間未来基金」を創設し、企業や全国の方々から寄附を募ることとしております。頂いた寄附については、跡地利用に伴う将来の財政需要に備えるとともに、大きな可能性を秘めた基地跡地というフィールドにおいて活躍することとなる未来を担う人材育成等に活用していきます。

宜野湾市中学校短期海外留学派遣事業の様子

Futenma Future Fund

In Ginowan City, U.S. military bases (Futenma Air Station and Camp Zukeran) occupy approximately 30% of the city area and the use of the base lands to be returned will require a huge amount of money in the future.As an effort to secure general financial support, Ginowan City established the "Futenma Future Fund" on July 1, 2017, and will be soliciting donations from corporations and people throughout Japan. The donations hold great potential to prepare for future financial needs associated with the use of the lands and to train future leaders who will be active in the development of the former base.

「跡地利用の先行モデル地区となる西普天間住宅地区跡地の沖縄健康医療拠点形成」に向けて

沖縄健康医療拠点形成まちづくりの主要な施策・事業（案）

キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地については、「沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と水・緑・文化の調和した住環境がつながるまち」として、今後返還される基地跡地利用の先行モデル地区にふさわしいまちづくりを進めています。また、上図の主要な施策・事業（案）に基づき、市民の健康増進やまちづくりなど、沖縄健康医療拠点の形成に係る取り組みを進めてまいります。

普天間未来
予想図
動画もチェック！